ウトナイ中学校だより
ハシカプ



校訓：**文武両道**　学校教育目標：**創造　自律　挑戦**　令和８年 10 月 30 日（金）　第６号

自主・自律・自治　～よりよい学校を目指して（主体性を育む）～

苫小牧市立ウトナイ中学校長　山　岸　弘　昇

今月から学校の暦としては後期に入っております。生徒の活動においても、学級組織が再編成され、係活動の割当てが後期版に変わっています。去る、19 日（月）の昼の校内放送において、生徒会書記局７名が第９期としての意気込みを語っていました。緊張した面持ちでしたが、各々が学校生活をより充実したものにするため、**公約の実現**を改めて約束していました。**生徒が主役の学校**、生徒が主体となって自分たちの学校生活を振り返り、改善に向けて**行動**を起こし、結果に**責任**をもつことを通して、真の**主体性**や**自治能力**の向上につながると私は信じています。



第９期生徒会書記局

書記局メンバーが立会演説で語っていた公約について（選挙公報から要約）

・兄弟学級の交流を活発にしたい
・学年同士の仲を深めたい
・体育祭、文化祭を学年関係なく楽しめるよう企画したい
・笑顔と挨拶であふれる学校にしたい
・ウトナイスタンダードを大切にしたい
・行事を盛り上げ、全校生徒の思い出に残るようなものにしたい
・「やってみたいこと」についてアンケートを実施し、意見を取り入れたい
・挨拶運動と兄弟学級交流を通して互いの意見を深め合いたい
・学年に関係なく仲が良く意見交換しやすい学校にしたい
・自分たちの意見が反映されていることを実感できるようにしたい
・U ミーティングを充実させたい
・挑戦することの大切さを（自分の行動で）示したい





新旧生徒会長

上記のように、志の高いリーダーたちの活躍に期待すると同時に、サポーター（＝支える人）の**協力**姿勢にも大いに期待したいと思っています。

次期学習指導要領のはなし

現在、文部科学省では次期学習指導要領に向けた作業が急ピッチで進められています。中学校では令和 13 年度に全面実施が予定されていますが、令和 10 年度から移行期間が設けられ、教育課程の変更や教科書の一部差替といった移行措置が順次行われていきます。学習指導要領は日本の学校教育における教育課程の基準を定めたものであり、これに基づいてすべての教育活動が展開されています。

現行の、そして、次期学習指導要領で目指す、子供たちが学校教育を終え、社会で活躍するときの姿として「**自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手**」が掲げられています。実現に向けて学校では、生徒個々の**興味・関心（・学ぶ意欲）**を育み、**得意**なことを伸ばすことで**個性の伸長**を図ること、**当事者意識**をもって**自分の意見**をもち、多様な他者と**対話（表現）**することで**民主的に合意**すること、**協働**することで課題を克服するといった経験を積み重ねることが求められます。

今後、本校においても教育課程の改善を図ることになりますが、現在取り組んでいる**生徒主体（自分たちで考え、決定し、行動し、責任をもつ）**の活動等は十分に通用するものと考えております。

自分の考えを持つ・表現する　～給食作文コンクール～



15 日（木）、苫小牧市教育・福祉センターにおいて、給食作文コンクールの表彰式が行われ、本校からは３年生の川村燈哉さんが最優秀賞に選ばれました。学校給食が重要であることの理由を５つの柱で論じていました。文章に説得力をもたすため、文部科学省から出されている統計データを用い、自分自身の経験談や感じていること（感謝の思い）を交えながら主張を展開していました。私もその場に同席していましたが、聞いていて大変分かりやすく、発表そのものも立派でした。

２年生　職場体験学習　～働くことの意義を学び、自分の未来を考える～

１０月 14 日・15 日の２日間、２年生が総合的な学習の時間のキャリア学習として、職場体験学習を実施しました。今回は、市内外の約 20 の事業所の皆様にご協力いただき、それぞれの職場で実際の仕事を体験し、仕事の内容はもちろんのこと、仕事には責任が伴うことや職場の人たちとのコミュニケーションが大切だということを実感する機会となりました。職場体験学習は、さまざまな職業の仕事内容を理解するだけではなく、自分の適性や興味・関心を見つめ直し、将来の生き方や進路について考えることや、挨拶や言葉遣い、時間を守ることなど社会の一員として必要な態度を学ぶこともねらいとしています。生徒達には今回の体験で得た学びを、今後の学校生活や進路選択につなげ、自分らしい生き方とは何かを主体的に考えてくれることを期待します。

また、お忙しい中、生徒たちを温かく受け入れ、丁寧にご指導いただいた事業所の皆様には心より感謝申し上げます。地域の皆様のご理解とご協力によって、生徒たちは教室では得られない貴重な学びを経験することができました。誠にありがとうございました。






１年生　ウポポイ校外学習　～アイヌ文化にふれ、学びを深めた１日～

10 月 14 日、１年生が総合的な学習の時間の一環として、白老町にあるウポポイ（民族共生象徴空間）を訪れました。今回の学習では、ムックリの演奏体験や博物館の展示見学、アイヌ料理の昼食、伝統芸能の鑑賞などを通して、アイヌの人々が受け継いできた歴史や文化について実際に体験しながら多くのことを学びました。

今回のウポポイ学習のねらいは、アイヌ文化に関する知識を得ることだけではなく、アイヌの人たちの自然との関わりや思いに触れることで、自分たちとは異なる文化や価値観を理解し尊重する心を育むことにもあります。生徒たちには、今回の学びをお互いの違いを認め合いながら共に生活することの大切さについて考えるきっかけにして、学校生活にも生かしてくれることを期待します。





教育相談

10 月 20 日から 27 日まで、全学級で教育相談を実施し、生徒全員が担任と学校生活や友人関係、学習、進路などについて相談しました。教育相談は、生徒が日頃感じている悩みや不安を相談するとともに、自分自身を見つめ直すことで、これからの学校生活や将来について考える大切な機会です。また、担任にとっても、生徒一人一人の気持ちや課題を理解し、適切な支援につなげるための重要な機会となります。中学生の時期は、心身の成長とともに悩みや不安も多様になる時期です。生徒が安心して学校生活を送れるよう、今後も生徒一人一人の声に耳を傾け、誰もが安心して学び、成長できる学校づくりに努めていきます。

大会・コンクールの結果

○卓球部

＜市民大会＞

男子シングルス　　中１　●さん ●さん　ベスト８　　中２　●さん　ベスト８

女子シングルス　　中２　●さん　第５位

男子団体　　A チーム　準優勝　　B チーム　第３位　　女子団体　A チーム　第３位

＜秋季中学校卓球選手権大会＞　男子団体　　第８位

○男子バスケットボール部

＜苫小牧市秋季新人大会＞　リーグ２位　＊北海道中学校新人大会苫小牧地区予選に進出

＜U15 道南ブロック予選＞　第３位

○女子バスケットボール部

＜苫小牧市秋季新人大会＞　リーグ１位　＊北海道中学校新人大会苫小牧地区予選に進出

○女子ソフトテニス部

＜苫小牧地区秋季新人戦＞　団体　A 級　第３位　　B 級第３位

○男子ソフトテニス部

＜苫小牧地区秋季新人戦＞　団体　A 級　第４位　　B 級第２位

１１月の主な行事予定

１日（日）開校記念日
２日（月）眼科検診
４日（水）３年生２学期末テスト
６日（金）職員会議
１１日（水）３年生学力テスト（総合 C）
１２日（木）１・２年２学期末テスト
１２日（木）進路説明会
１４日（土）PTA 環境整備事業
２０日（金）一斉委員会
３０日（月）３年生三者懇談
認知症サポータ講座（３年）

発行者　苫小牧市立ウトナイ中学校　　校長：山岸　弘昇　　編集責任者：白鳥　博丈（教頭）
苫小牧市ウトナイ北２丁目５番１号　電話（0144)57-6451　FAX (0144)57-6452